

## シミュレーションで明確になった 施策実施はとうてい無理だ

7月に開催されたユニオン大会では「二人乗務になることによってやりきれない業務がある」「(職場集会で)500件の意見を集約。未だ不安は払しょくできない」など車内業務見直しの問題を指摘する発言が相次いだ。

会社は8月に行路を指定してシミュレーションを行った。しかしそれは車内業務見直しの実施が可能かどうかの検証ではない。シミュレーションをやったということで実施のための口実としようということである。

しかし実際に行われたシミュレーションでは「できるわけがない」「無理だ」という声が続々と上がったことはいうまでもない。

会社はユニオンとの業務委員会で「検証の結果に基づき、得られた車内業務の課題を引き続き検討する」「今後も第2回第3回のシミュレーションを実施し、各項目の検証を行う」と言っている。つまり、シミュレーションをしたので施策実施は可能だと言い切れないのだ。3回もシミュレーションをやらなくてはいけないということは、会社自ら車内業務の見直しは無理だということを認めたに等しい。

**何度検証をやっても同じである。**

ユニオン役員は、組合員からシミュレーションで「できるわけがない」「無理だ」という声しか出ていないのに「施策の実施に向けて万全な体制を」「施策実施に向けて改善を」などとふざけたことを言っている。

東海労はこれからも見直し反対・施策撤回の声を上げていく！  
ユニオン組合員の皆さんへ出向延期、実施撤回の声を上げよう！